

感染ピーク抑制 シナリオ崩れる

医療の負担増懸念

広島県、早めの集中対策も…

広島県内で新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない。1日当たりの感染者は18日、初めて300人を超えた。県は従来より早いタイミングで行動制限を伴う独自の集中対策に踏み切ったが、効果は限定的で、感染のピークを低く抑えるというシナリオは狂ってきている。今後、医療現場への負荷が増す懸念される「11面関連」。

（長久豪佑、宮野史康）

「残念ながら、今までの（対策）と同等の効果は発揮されていない」。湯崎英彦知事は、政府によるまん延防止等重点措置の適用決定を受けた17日夜の記者会見で現状を説明した。県は7月31日に集中対策を始め、県民には外出半減を、「重点区域」に定めた市の飲食店には営業時間短縮を要請してきたが、感染者数は今も右肩上がりだ。

県の当初のシナリオでは、指標とした直近1週間の新規感染者数（人口10万人当たり）が、今月中旬から下降に転じるはずだった。現実には、12日に感染状況が最も深刻な「ステージ4」（爆発的感染拡大）の指標（25人）を突破し、17日には41・8人、18日には48・6人まで上昇した。好転の兆しは見えない。

県は要因として、県外の感染拡大地域との人の往來の増加を挙げる。県外に行ったり、県外から来た人に会ったりした感染者の割合は、7月25日〜今月7日の2週間で全体の28%。夏休

広島県内の感染状況

指標	広島市	福山市	広島県	参考指標
10万人当たりの療養者数(人)	50.4	65.2	47.1	30人以上
直近1週間の10万人当たりの新規感染者数(人)	48.7	51.8	41.8	25人以上
PCR検査の陽性率(7日間、%)	7.7	9.1	2.4	10%以上
感染経路不明の割合(7日間移動平均、%)	44.8	49.0	43.1	50%以上
病床のひっ迫具合(%)	—	—	30.2	50%以上
重症者用病床のひっ迫具合(%)	—	—	11.6	50%以上
入院率(%)	—	—	18.9	25%以下

※PCR陽性率は8月12日、他は17日時点。—は数値を算出していないが、指標になっていない

み期間に入り、その前の2週間から9割増加した。感染力が強いインド由来

のデルタ株も広がる。デルタ株が疑われる感染者の割合は今月1〜11日で57・2%と、7月1〜15日の9・8%から急増している。県内で感染者が最も多い広島市の繁華街では、夜の外出が想定ほど減っていない。

感染者数の急増に伴い、県内でも医療提供体制の危機が迫っている。県は5月、変異株の影響を踏まえて、1日当たりの新規感染者数を最大400人と想定した。今月17日時点で確保した入院ベッド

（病床）は827床で、使用率は30・2%まで高まった。来週にもステージ4の指標の50%を上回る恐れがあるとみている。感染者の病院以外の滞在先は、ホテルなどの宿泊施設や自宅となる。首都圏では自宅での死亡が相次いでいるが、県は無症状や軽症でも原則、宿泊施設で療養してもらう方針を維持している。確保済みの宿泊施設は1685室で、使用率は43・9%となる。県はホテル確保をさらに進めるとしつつ「感染の急拡大が続けば、方針変更を検討せざるを得ない」と危機感を募らせる。

今回の流行がこれまでの波と違うのは、高齢者のワクチン接種が浸透した後、行動が活発な世代が感染者の中心となっている。家族の誰かがウイルスを持ち帰れば、家庭内感染を止めるのは難しい。これ以上の感染拡大を防ぐには、一人一人が外出機会を減らすほかない。感染力の強いデルタ株も広がり、今までの対策が必要だ。テレワークを推進するなど、外出の抑制に努めてほしい。

外出の機会 各自抑制を

広島大病院感染症科の大毛宏喜教授の話。人の流れが増えれば、感染者も増える。お盆には東京、大阪などの流行地からも大勢の人が広島県内に帰省している。お盆が始まった頃の人の流入の影響が今、数字として見え始めた。感染者は今後も増える恐れがある。病院の入院ベッドや療養ホテルの使用率は今、4割ほどだが、安心とは言えない。逼迫度は短期間に変わるからだ。今月初めは2割

アストラ製 6都府県配布

コロナワクチン 接種23日スタート

緊急事態宣言が発令されている東京、大阪など6都府県に対するアストラ製ネカ製の新型コロナウイルスワクチンの配送が16日に始まった。今回の配送量は計5万2800回分で、接種は23日にスタートする。アストラ製ネカ製は原則40歳以上が対象。米ファイザーや米モデルナの成分でアレルギー反応が懸念される人などには、40歳未満でも使用を認める。

23日に接種を始める埼玉県川口市では、3750回分の枠が、すでに8割以上埋まった。「ファイザーやモデルナ製を待つよりも早く打ちたい」という40、50歳代が多いという。こうした世代が接種しやすいよう、接種時間を午後5〜9時に設定した。

東京都武蔵野市は9月4日に接種を開始する。11

00回分の予約枠はすでに定員に達した。30歳代の人からも「接種できないか」という問い合わせが寄せられたという。

大阪市は、週3780回ペースでの接種を計画している。23日に開始する予定で、約6割の予約がすでに埋まっている。

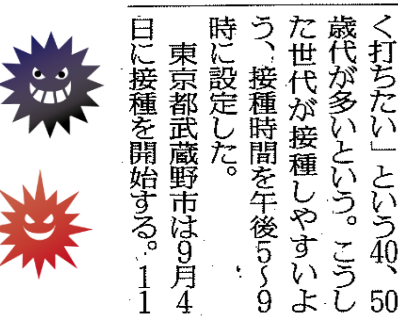
ファイザー製「3回目分確保」
河野氏

河野行政・規制改革相は16日、日本テレビのCS番組で、米ファイザー製の新型コロナウイルスワクチンについて、3回目の追加接種分を確保していることを明らかにした。

河野氏は、ファイザー製を2回接種した人が来年に3回目を接種するのに必要な量の調達について、同社と合意できていると述べた。近く詳細を発表する。政府は今年分として1億9400万回（9700万人）分の供給を受ける予定となっている。政府はすでに来年分として、米モデルナ製5000万回分の供給を受ける契約を交わしているほか、米ノババックス社と1億5000万回分を購入する方向で協議している。

福山市は18日、新たに83人の新型コロナウイルス感染を確認しました。感染者数を更新して過去最多の美容室で発生、これまでに7人の感染が確認されています。

R3. 8. 20
花園保育園



7月初め頃は、感染者の大半が若い世代で、入院患者もは、急速に全国各地に広がっていった。だが、8月に入るとが従来株の2倍以上強いつき感染者の急増で病床が埋まると、すぐに入院できない状態になった。

大曲氏は「入院できた時に重症化しているため、治療期間で8倍以上に急拡大した。今月10日時点で、17都府県で確保病床の使用率が最も

大規模接種スタート

福山市一般向け1日最大140人
新型コロナウイルスワクチン12〜64歳への接種で、福山市は18日、同市南蔵王町の福山労働会館みやびで大規模接種を始めた。

令和3年8月31日最大1440人に打ち、接種を加速化させる。

同会場では、医師や看護師など常時54人体制で進める。来場者は混雑や「3密」を避けるため、受け付け前の待機や予診、経過観察など3つの部屋を順番に回りながら接種を受ける。事前に予約した人が15分ごとに案内される。

この日は、約1400人が接種を受けた。同市花園町の飲食店経営者石田宏康さん(49)は「自分やお客さんが感染してはいけないという緊張感がある。スムーズに接種を受けられ、ほっとした」と話していた。

市の大規模接種はシャープ福山スポーツセンター（大門町）でも4日に始まる。市ワクチン接種実施本部の村上友浩主任は「9月末までに市民の7割が接種する市の目標に向け、大規模接種を十分活用して加速化させたい」とする。

また、市は2日、大規模接種の2次予約の受け付けを始めた。1万3680人分の枠があり、9〜15日に1回目の接種をする。コールセンター☎(0570)015673（午前8時半〜午後5時15分。専用サイト <https://fukuyama-corona.jp>）（24時間対応）
（川村正浩）

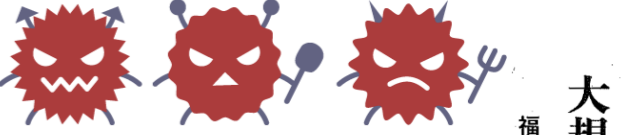
深刻な「ステージ4」（50%）に達している。感染者を減らすには、人と人との接触を減少させる必要があるが、緊急事態宣言が発令されている地域でも、慣れや自粛疲れもあり、繁華街の出入の抑制は限定的だ。

東京都内の1日あたりの新規感染者は、現在の4000人強から、9月上旬に約2万人になるとの推計もある。

政府・基本的対処方針分科会の尾身茂分科会長は17日、報道陣に「今までは個人に協力をお願いする対策だったが、それでは乗り越えられない。感染リスクが高い行動を必ず避けてもらえよう、新たな法的な仕組みが必要だ」と訴えた。
（医療部 米山剛彦）



8月園だよりコロナ感染症特集21



病床使用 17都府県「ステージ4」